

西区自治協議会 会議概要（速報版）

令和3年度 第3回会議	
開催日時	令和3年6月30日（水）午後3時から午後4時50分
会 場	黒崎市民会館 ホール
出席者	<p>委員</p> <p>大谷会長 風間副会長 高橋（伸）副会長 五十嵐（秀）委員 伊藤（甲）委員 小川委員 菊池委員 中村委員 岩沢委員 高田委員 岩脇委員 広川委員 伊藤（正）委員 藤橋委員 五十嵐（加）委員 大島委員 眞柄委員 椎谷委員 長谷川委員 加野委員 山賀委員 山岸委員 長澤委員 杉原委員 原澤委員 高橋（直）委員 西山委員 計27名</p> <p>[欠席：小泉委員、田中（米）委員、木村委員、澤邊委員、眞野委員 澤口委員、篠田委員、田中（幸）委員、古俣委員]</p>
	<p>事務局等</p> <p>笠原区長、加藤副区長、松尾地域課長、佐藤区民生活課長、 田中健康福祉課長、田中保護課長、小林農政商工課長補佐、 渡辺建設課長、福田西区教育支援センター所長、熊倉西出張所長、 岸本坂井輪地区公民館長、眞柄坂井輪図書館長 ほか</p>
主な議事	<p>（1）令和3年度 西区自治協議会提案事業 地域課題解決に向けた提案募集事業について</p> <p>○資料1-1から1-3に基づき、松尾地域課長より本事業の概要について、岩沢第1部会長及び岩脇第3部会長より今年度募集する事業テーマについて、説明がありました。</p> <p>○審議の結果、募集要項（案）のとおり、提案を募集することとしました。</p> <p>○併せて、岩沢第1部会長及び岩脇第3部会長が部会の審議状況について報告しました。</p>
	<p>（2）令和3年度区自治協議会提案事業 西区アートフェスティバル+音届 企画書（案）について</p> <p>○資料2に基づき、小川アートフェスティバル特別部会副部会長より説明がありました。</p> <p>○審議の結果、企画書（案）のとおり進めていくこととしました。</p> <p>○併せて、小川アートフェスティバル特別部会副部会長が部会の審議状況について報告しました。</p>
	<p>（3）西区自治協議会委員推薦会議 構成委員について</p> <p>○資料3に基づき、今期委員推薦会議の構成委員（案）について事務局より説明がありました。</p> <p>○審議の結果、（案）の委員に依頼することとしました。</p>
報告 （自治協議会から）	<p>（1）部会の状況報告</p> <p>○資料4に基づき、第1部会、第3部会、アートフェスティバル特別部会を除く各部会長が部会の審議状況について報告しました。</p>

報告 (各所管課から)	(1) 令和4年度 特色ある区づくり予算について ○資料5に基づき、加藤副区長より報告がありました。
	(2) 小針球場跡地の売却について ○資料6に基づき、松尾地域課長より報告がありました。
	(3) 新型コロナウイルス禍による日常生活や地域福祉への影響に関するアンケート調査 結果報告 ○資料7-1、7-2に基づき、田中健康福祉課長より報告がありました。
	(4) 新型コロナワクチン接種「予約お手伝い隊」について ○資料8に基づき、田中健康福祉課長より報告がありました。
その他	<次回日程> ○第4回西区自治協議会 開催日程：令和3年7月29日（木）午後3時 会場：黒崎市民会館 ホール
	<ワクチンの広報について 意見交換> ○笠原区長より、新型コロナワクチン接種の広報の現状について説明がありました。広報の手法等について意見交換を行いました。 ▷委員から出された主な意見は以下のとおり <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域では、自治会の回覧や支え合いのしくみづくりを利用して情報共有等が行われており、現状問題はないと考える。 ・一人暮らしの住民においては、情報共有が確実に行き届いているか不安な面がある。 ・今後、小学校区単位でのワクチン接種や、職域接種を行えば接種率の向上につながると思われる。 ・行政からのお知らせや連日の報道等により、広報が十分と考える。家族等から身内の高齢者に声をかけるのも重要だと考える。 ・商工会を通じた広報も可能と考える。 ・「お手伝い隊」の広報はどのように行われたのか。お手伝い隊の会場に偶然足を運んだ際に存在は知ったが、それ以外で情報を耳にすることがなかった。広報車を活用して広報をすると有効ではないか。 ・小中学校の学童等で親御さんへのお知らせを活用すると、親御さんから身内の高齢者に情報が行き届き、認知につながると思われる。 ・新聞社と協力し、紙面に新型コロナウイルスに関するコーナーを恒常的に設け、日々最新の情報を掲載すると効果的だと考える。載せる情報は感染者数ではなく、接種に関する情報のほうが良いと考える。 ・整形外科は高齢者が頻繁に訪れる場所であり、情報交換の場としても機能しているため周知の場として有効と思われる。 ・市報にいがたにワクチンに関する情報が掲載されるが、新聞を購読していなく、市報にいがたが届かなかったという声もあった。 ・接種率を随時公表することで、未接種の方への接種をうながす効果が生まれると考える。
傍聴者	4名